



株式会社

ワーク・ライフ・バランス企画

Work Life Balance Project

システムご説明資料

ワーク・ライフ・バランス企画のシステムご説明資料

平成 30 年 12 月 1 日

株式会社ワーク・ライフ・バランス企画

目次

はじめに	2
サービス内容	3
月の勤務シフト作成.....	3
年間の年休取得計画.....	3
システム導入の利点	5
労働環境の改善	5
管理者の負担軽減	5
生産性向上	6
システム導入の流れ・費用	7
セキュリティ	8
最後に	8

はじめに

この度は株式会社ワーク・ライフ・バランス企画のシステム導入をご検討してくださり、ありがとうございます。最初に、当システムの特徴を説明させていただきます。

システムの主な機能は「月の勤怠シフト」と「年間の有給休暇（以下「年休」）取得計画」の作成です。利用する各施設・団体専用にカスタマイズしたシステム開発を行い、そのシステムを利用し勤怠計画を作成・提示を行います。

利用施設の勤務形態に合わせシステムを構築することで、熟練の管理者が作成する勤務シフトと同等のものが作成でき、年間の年休消化も正確に管理できます。導入・運用を完全サポートしますので、勤務表作成の外部委託をイメージされるとわかりやすいと思います。

サービス内容

月の勤務シフト作成

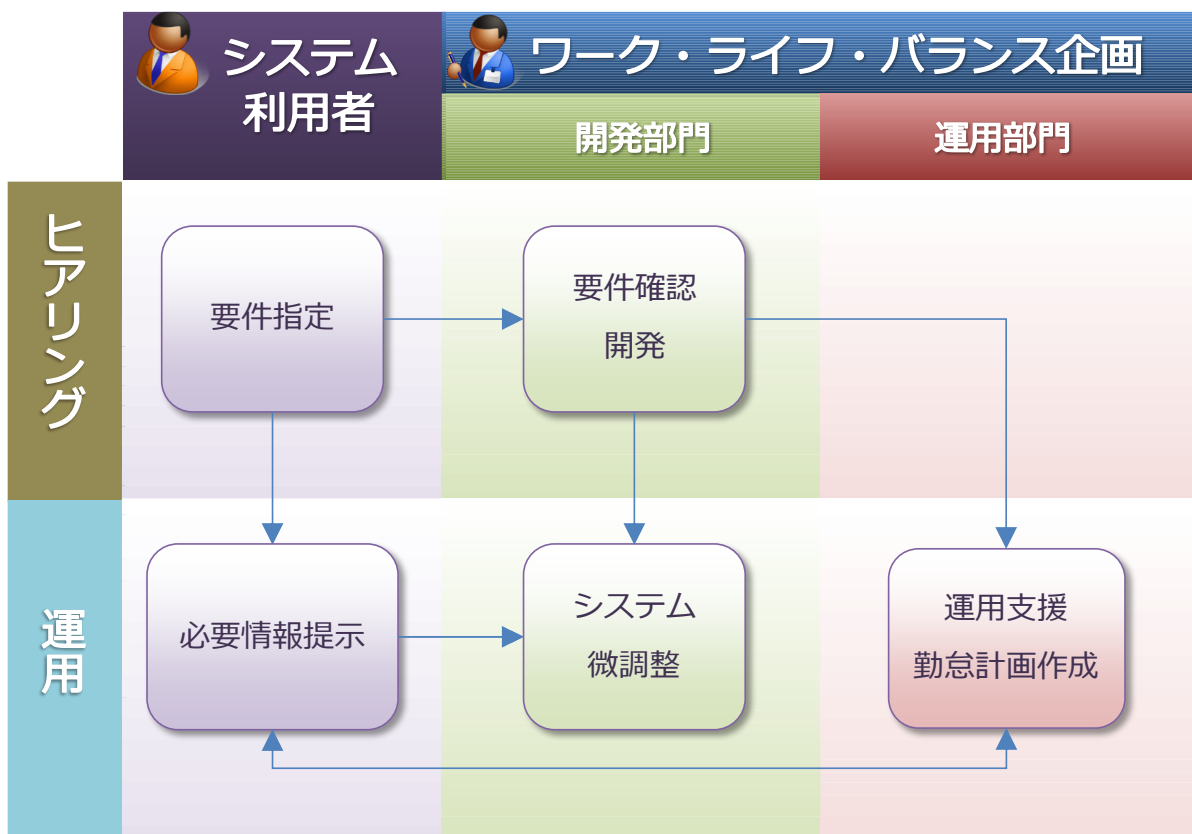
勤務シフト作成に考慮すべき項目は数多くあります。職種・部署・役職・技術習熟度等の人員配置に必要な要素、また職員の希望休日、出張・勉強会等の日程・時間要素等々……。勤務シフト作成者は、日々の職場の運営に必要な様々な状況を統合して月の勤務シフトを作成しています。作成の条件は「常時必ず医師の〇〇人が出勤」といった明確なものから、「ベテラン看護師はなるべく△△人くらいは出勤してほしい」「なるべく一日おきの出勤は少なくしたい」といったファジーなものまで数多くあると思います。これらの条件を勤務シフト作成者とのヒアリングを行うことで、各職場特有の条件に合致するよう数値化しシステムに組み込みます。

システム完成後の現場での運用は、シンプルなものとなります。職員の希望休日や出張等の勤務予定を示していただければ、当方で勤務シフトを自動作成し提示できます。勤務シフトの出力方式に関してはご希望通りに行います。

年間の年休取得計画

各職員の年休消化予定を設定することで、年休消化の計画的管理が可能となります。提示される計画は人員配置に必要な要素を考慮して作成されます。例えば、「あなたは（ベテラン看護師で〇〇の役割をもっているから、職場のバランスを考えると）この月にこれくらい年休取れるけどどうする？」といった内容を、各職員に対しシステムが計算してくれます。

月の勤務シフト管理と年休取得計画機能を連携することで、職員の年休消化は目標通りに達成されます。このシステムの利用は、厚生労働省の推進する「年次有給休暇の計画的付与」に対しての具体的な方策になると考えられます。（「年次有給休暇管理と勤務表作成の連携方法」特許第 5877475 号）



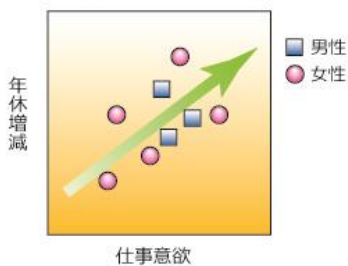
システム導入の利点

労働環境の改善

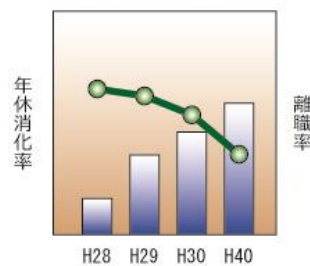
年休取得率の低さや、それに伴う長時間労働は、社会的に問題視されています。これらは労働者の健康を害し、仕事へのモチベーションをなくし離職に至る原因とも考えられています。

本システムの導入により各職員は年休を各自の目標に合わせ、現場への負担が少ないまま、消化することが可能となります。「休暇の取りやすさ」は労働者が企業に最も求めている条件とされ、働きやすい職場としての満足度改善、労働者の健康改善、離職率低下等が期待できます。

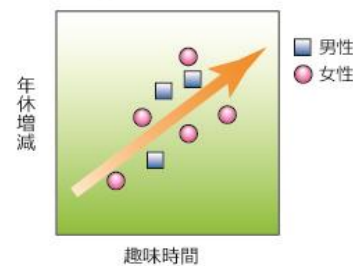
職員の年休増減と仕事意欲の関係



職場の年休消化率と離職率の変位



職員の年休増減と趣味時間の関係



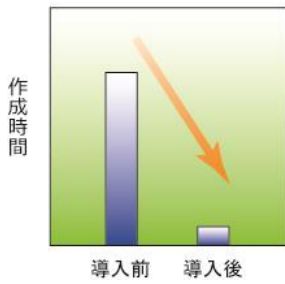
管理者の負担軽減

勤務シフトを作成する管理者の時間的、また精神的な負担を軽減できます。勤務シフトの作成は管理者にとって最も負担のかかる業務の一つです。せっかく時間をかけて作成した勤務シフトが職員の不満のタネとなっていることもあり、勤務シフト作成者のストレスは多大なものと思われれます。勤務シフトの作成は外部に委託することで、管理者は他の管理業務に時間を割くことが可能となります。

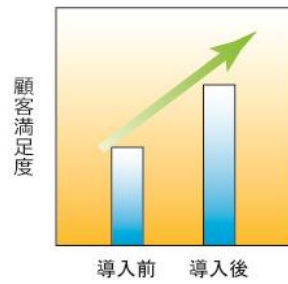
生産性向上

人員配置に偏りのない質の高い勤務形態を作り出すことが可能となり、職場の生産性・サービスの向上に貢献することが期待できます。

勤務シフト作成時間の変位



顧客満足度の変位



システム導入の流れ・費用

システムを導入の際は、利用施設の勤務計画管理方式のヒアリング、プログラム開発を相当数繰り返し運用に至ります。実用化できる勤務シフトができるまで1～3カ月、ヒアリングは月2回で1時間/回程度必要です。この間、開発費用はかかりません。運用開始後から、利用団体の部門単位で10,000円/月とさせていただきます（例：3部門の勤務シフトが必要でしたら30,000円/月となります※）。

※部門：勤務シフトの作成単位となります。人員配置の計算する際、互いに影響している職員をまとめる単位として「部門」と表現しています。〇〇部△△科という形態では、通常「△△科」が勤務シフトの作成単位（＝部門）になります。

セキュリティ

個人情報に関しては、厳重に取り扱うことを誓約いたします。個人が特定できる情報は外部に持ち出すことはありません。

最後に

施設特有の希望にも柔軟に対応できます。ぜひシステム導入のご検討をお願いいたします。システム動作の確認が必要な際は、既存のものをお持ちしてデモを行いますので、ご連絡ください。※当方の事業拠点は沖縄本土であり、現在のところ活動範囲は沖縄本土に限らせていただいております。

株式会社ワーク・ライフ・バランス企画 代表取締役 宮内明

〒900-0004 那覇市銘苅二丁目3番6号那覇市IT創造館203号

TEL: 098-943-4782

携帯: 080-4180-1328

E-mail: a-miyauchi@wlbproject.org

URL: <https://wlbproject.org/>
